



ちた未来塾通信

vol.7

「福島の子を知多半島に！」

～プロジェクトの推進力～

11月26日、知多市市民活動センターにて第7回を開催、今回はNPO法人ゆめじろうの鮎沢日菜子さんを講師に招き、「プロジェクトの推進力」について学びました。



NPO法人ゆめじろう 鮎沢日菜子氏

プロジェクトの推進力

今回は、自らの想いを発信し、活動を形にしていく「プロジェクトの推進力」について学びました。鮎沢さんは、東日本大震災による原発事故で放射線被曝をしている福島県の子どもを支援する「保養キャンプ」を行っています。その活動を知多半島で実施する際に、多くの方が、寄付やボランティア等で協力してくれました。また、キャンプ終了後に、保養キャンプのボランティアに参加した人が中心となり、知多半島の保養受け入れ団体「ふくふくっこ」が立ち上がり、現在も継続して活動しています。このように、自分の想いを発信し、多くの人に関わることで、活動が地域に根付いていくプロセスをお話いただきました。（塾生の感想は以下の通り）

◇鮎沢さんのお話の中で、「自分のやりたいことが、いつの間にかみんなのやりたいことになっていく」プロセスが印象的でした。

◇今回は、「保養」という新しい角度から福

島について学ぶことが出来ました。

◇狭い視点で問題を捉えるのは危険で、多様な視点で考えることが大切だと思いました。

◇メンバーとの意見交換が、素直に面白かったので、もっと話したいです。

◇鮎沢さんが、とても楽しそうにしているのが印象的でした。

グループワーク

10月20日の未来塾で提案があった、「なぜその仕事をしているの？」という、働いている人から、その仕事に就いた理由や仕事のやりがいを聞くイベントについて、みんなで意見交換をしました。（以下、出た意見）

◇社会人として働いている人の話を聞けるのは楽しみだし、大学生の自分は大学生活や受験について高校生に伝えられると思います。

◇これから就活だが、社会には自分の知らない仕事がたくさんあるはずなので、色々な人の話を聞きたいです。

◇塾生発の企画なので、取り組みながら、これからの成長の糧になれば良いと思います。

◇アイデアを具体化するために、企画書を作成します。



グループワークの様子

次回は、1月14日(日) 13:30～16:30